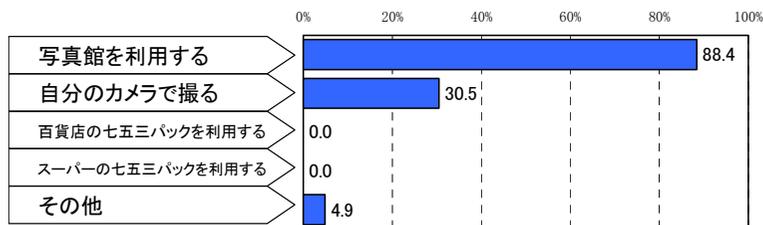




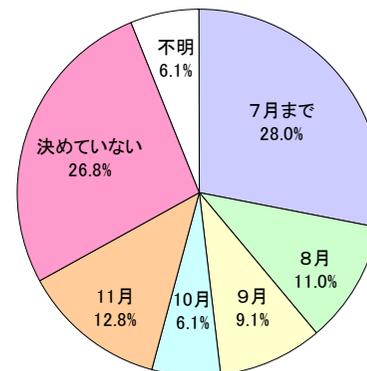
主流は写真館利用、ますます早撮りの傾向が色濃く

七五三の撮影には写真館を利用する人は毎年増加しており、今回の調査では昨年の86.9%から1.5ポイント増の88.4%という高い割合に(グラフ①)。「早割を利用した方が安く、お得」と語る人が非常に多いことから分かるように、各写真館の早割戦略によって撮影時期も年々早くなり、4人に1人以上が7月までに撮影すると答えた(グラフ②)。子どもの晴れ舞台とあって、多少の出費は仕方ないとしながらも、今年は近年でもっとも予算が低く、平均で約3万円だったのは、各社競って打ち出した「早割」戦略も要因の1つといえそう(グラフ③)。

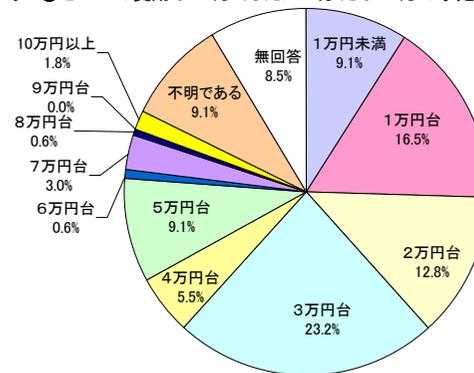
グラフ①七五三の写真はどのように撮りますか?(複数回答) (n=164)



グラフ②今年度七五三のお祝いをした人、またはこれからする予定の人にお聞きします。業者に写真を撮ってもらうのは、いつごろの予定ですか? (n=164)



グラフ③七五三の費用はいくらでしたか?(またはいくらの予定ですか?) (n=164)



平均3万530円

園児とママの情報誌「あんふぁん」 私立幼稚園に通う園児とママのための情報誌。子育て情報はもちろん、地域密着情報を発信し子育てライフをサポートしています。

(あんふぁんサイト <http://www.enfanble.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

<調査概要>

●2012年6月29日～7月12日実施の「あんふぁん」WEBアンケートの回答から、459件を集計

<調査実施>あんふぁん